

「いわていきいきプラン2012-2014(仮称)(岩手県高齢者福祉計画・岩手県介護保険事業支援計画)素案の概要

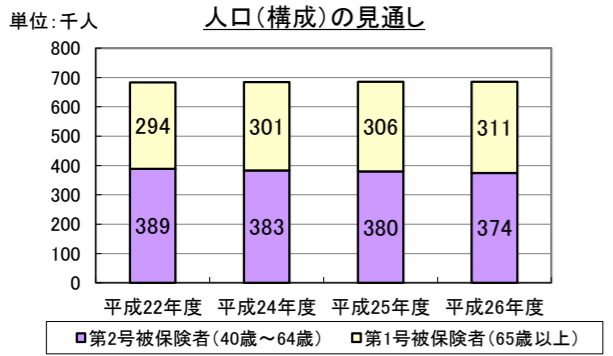
目指す姿

生きがい・健康づくりと、お互いが支え合う、高齢者が地域で安心して生活できる環境の構築

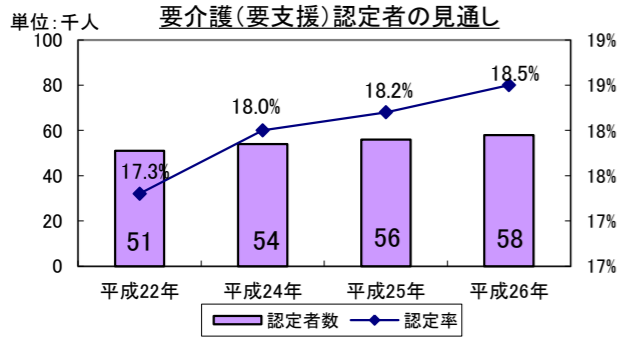
高齢化の進展と高齢者等の現状

1. 高齢化の進展(H22→H26)

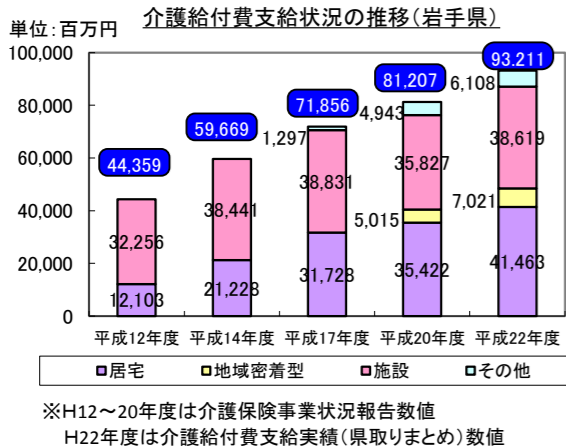
○第1号被保険者は増加(294千人→311千人)
・4年間で1万7千人の増加



○要介護等高齢者の増加(51千人→58千人)
・4年間で7千人の増加
・認定率は1.2ポイント上昇(17.3%→18.5%)



2. 介護給付費のこれまでの推移



いわていきいきプラン2012-2014(案)

1. 計画策定の趣旨

- 県の総合的な高齢者の福祉・介護施策の基本的方針及び施策の方向を明確にするとともに、市町村が行う介護保険事業の円滑な実施を支援するため、県高齢者福祉計画及び県介護保険事業支援計画を一体的に策定するものです。
- 介護保険事業支援計画は、介護保険法の規定により、3年を1期とした計画を策定することとされ、また、高齢者福祉計画は、介護保険事業支援計画と整合性をもって見直しすることが求められていることから、新たに「いわていきいきプラン2012-2014」として策定し、高齢者が地域で生活できる環境の構築に向け取り組んでいくものです。
＜計画期間：平成24年度～26年度＞

2. 計画の性格・推進について

- この計画は、本県の高齢者福祉・介護施策を推進する実施計画であるとともに、県民、事業者、行政それぞれの行動指針となるものです。
- いわて県民計画、岩手県保健医療計画、岩手県地域福祉支援計画等の各種計画と調和を保ち連携を図りながら、高齢者の福祉・介護施策を総合的に推進する計画です。
- 大震災津波からの復興にあたっては、平成23年8月に策定された岩手県東日本大震災津波復興計画等を基本としつつ、本計画に基づく施策の推進により、復興の取組の着実な達成を目指すものです。
- 計画の推進に当たっては、毎年度、県及び市町村計画の計画目標の達成状況を点検し、高齢者福祉圏域ごとの実施状況を分析・評価のうえ、効果的な施策の推進に努めます。

4. 施策推進の基本方針

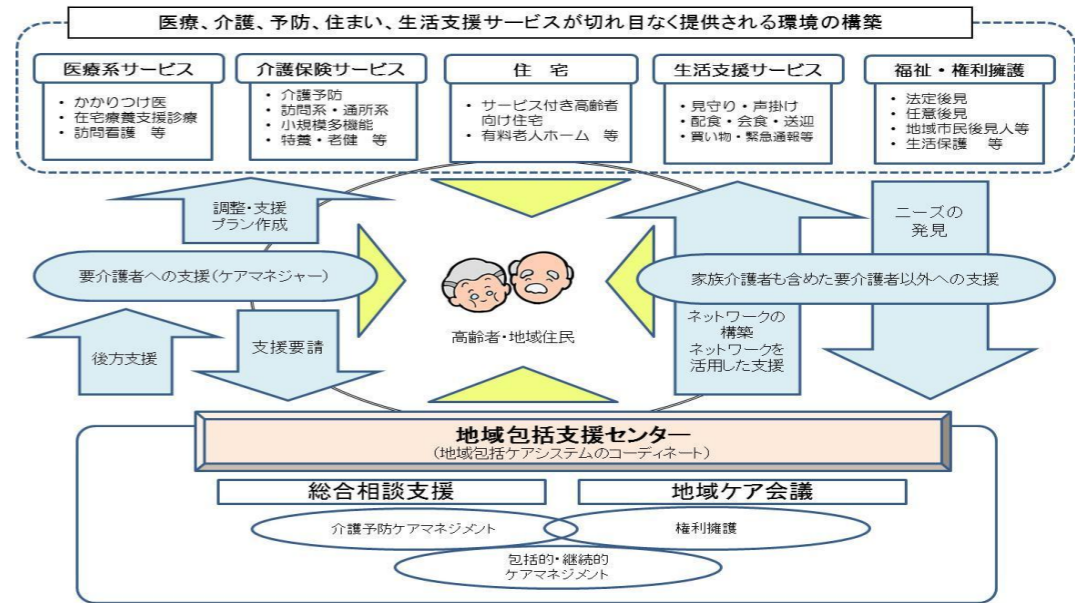
高齢者が地域で安心して生活できる環境(地域包括ケアシステム)の構築

- 高齢者が能力と創造性を発揮し、健康で安心して心豊かに暮らし、生き生きと社会参加できる環境づくりを進めます。
- 介護や支援が必要な状態になっても、高齢者が住み慣れた地域で生活を続けたいという希望を尊重し、安心して自立した日常生活を送ることができるよう、高齢者を地域全体で支える環境の構築をめざします。

高齢者個々人のニーズや状態に応じて、医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスが切れ目なく提供され、現在、施設入所等により得られている身体介護、医療的ケア、食事等生活支援を一体的に受け取ることができる環境

- ・ 自助・互助・共助・公助が有機的に組み合わせられ、連動しながら、必要なサービスを適切に利用できる体制づくりを進めます。
- ・ 施策の展開に当たっては、介護サービスに関する施策、介護予防のための施策及び地域における自立した日常生活の支援のための施策を、医療及び居住に関する施策との有機的な連携を図りつつ、包括的に推進します。

【国の地域包括ケアシステムのイメージ】



いわていきいきプラン2012-2014策定スケジュール等

H23年8~12月
・プラン(素案)の検討
・各保険者との調整

H24年1月~24年2月
・パブリックコメント
・地域説明会

H24年3月
・高齢者福祉・介護保険推進協議会での審議
・県議会(常任委員会)報告
・いわていきいきプランの策定

H24年4月~
いわていきいきプラン2012-2014
施行

※ この素案の概要は、平成23年12月15日に開催した平成23年度第2回岩手県高齢者福祉・介護保険推進協議会での意見を踏まえ修正されたものであり、今後もパブコメ等の意見を反映させ修正を加えるものです。